



丘に吹く風

文責：教頭（多治見哲也）

～令和7年度「学校をよりよくするためのアンケート」から～

残すところ、あと1か月ほどで令和7年度の教育活動が終わります。本日まで保護者・地域の皆様には、多大なるご理解・ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。遅くなりましたが、昨年11月に実施いたしました「学校をよりよくするためのアンケート」で寄せられたご意見と今後の対応についてご報告いたします。

1. 学習(授業)について

<生徒より>

- ・全体的には肯定的な評価が多いですが、1年生の回答は他学年に比べ低い評価になっています。授業や学習内容について、小学校とのギャップを感じている生徒がいると思いますので、今一度、小学校との連携を図りながら、「分かる・楽しい授業づくり」に努めていきたいと思います。
- ・「授業の理解」について経年変化を見ると、2年、3年の肯定的意見が増加しています。生徒が聴き合い、学び合う授業やICTを活用した授業を進めるよう教員研修をしており、その成果が出てきていると感じています。

<保護者より>

- ・「学校は、よく分かる授業をしている」という項目では、肯定的な評価が昨年度より1割増加しました。特に2年生において、落ち着いて授業に参加できる生徒が増えたことに対して、肯定的に受け止めていただいている結果と感じています。
- ・自由記述では、「もっと興味を引く授業の工夫を」という意見をいただきました。教員研修においても、「生徒が探究したくなる課題設定」の大切さについて共通理解し、研修に励んでまいります。

2. 生活について

<生徒より>

- ・昨年度よりも全体的に肯定的な評価が多く、学年が上がるにつれて、生徒と教師がよい関係を築いて学校生活を送っていることが分かります。
- ・「時間やきまりを守り、係活動や当番活動などに責任をもって生活している」の肯定的数値が上がっています。集団の一員としての自覚をもち、自分の役割に責任をもって行動する生徒が増えていることが分かります。
- ・生徒の自由記述からは「行事のさらなる充実」「他学年との交流機会」を望む意見が多く見られました。生徒とともに生徒が主体となる、魅力のある学校づくりを進めていきます。

<保護者より>

- ・すべての項目で昨年度を上回る評価をいただきました。特に「生活習慣や規範意識の向上」「いじめや不登校、問題行動の予防・早期発見・対応」の肯定的数値が上がったことは、学校が生徒・保護者にとって安心安全な環境として評価いただいていると感じます。
- ・自由記述からは、「自転車通学者の点字ブロック事故」について心配の声をいただきました。生徒からの声も聴きつつ、学校でも繰り返し指導をしてまいります。加えて、来年度も、子どもたちの成長のために、保護者・地域の皆様の協力をいただきながら教育活動を進めていきたいと思っております。



※学校 HP では、アンケート結果の数値も公開していますので、併せてご覧ください。